

# 焼酎日記

## 三杯目

「きばいあんせ」は、  
いい響き。

天文館を気ままに歩いていると、焼酎が並ぶショーケースのディスプレイに足が止まった。案外、地元限定の銘柄が多い。これも地産地消なのかな。その中で「きばいあんせ」のネーミングに私の気がソソられた。

県外の友人に送ると「本場からの美味しいエールをありがとう」のメールが届く。「きばいあんせ」は方言で「ガンバって」の意味。祖母や母の語りのように優しく、自然とやる気が沸いてくる。

フランス留学時代のほのぼのとした出来事を思い出した。北部の冬は日中マイナス7度という日も珍しくない。学校と練習漬けの孤独の毎日、鹿児島からの小包にほっと温かくなった。手紙では足りず、箱の内側まで母のメッセージがぎっしりと書かれている。自慢の味噌おでんが恋しくなり「帰ったら作ってね」と、つい、かごんま弁でせがんだものだ。



その頃好んで聴いていたのは、ブラームスの6つのピアノ小品曲。ブラームスは弦楽器やピアノ曲を数多く作曲している。単旋律の管楽器では満足できない、重厚な和声を表現したかったのだろう。あらためて聴くと、不思議にそのときの空気感まで蘇る。

何はともあれ…2010年は始まったばかり。自分に勇気を与える言葉や音楽、そして、母ゆずりの味を大事にしようっと！

Natou